

平成 28 年度 全国保健師長会活動方針

我が国は、世界に類を見ない少子高齢・人口減少の時代に突入しています。

私たち保健師を取り巻く環境は、自然災害や新興・再興感染症、疾病構造の変化など新たな課題も増えており、健康危機管理への対応や、虐待防止対策、自殺予防対策、生活習慣病対策、さらには地域包括ケアシステムの構築など、地域特性に応じた専門性の高い活動がますます求められています。

「保健医療 2035 提言書」では 2035 年の保健医療の達成すべきビジョンが示され、日本再興戦略では、「国民の健康寿命の延伸」を目標とした、2030 年の目指す社会像として「予防から治療、早期在宅復帰に至る適正なケアサイクルの確立」が掲げられており、この目標達成に向けて、私たち保健師は、これまで培ってきた経験と公衆衛生看護の技術を活かし、積極的に取り組むべきと考えます。

あらゆる世代や健康レベルの人々が、安心して健やかに暮らせるまちづくりをめざし、保健医療福祉や、産業、教育分野などの多様な機関との連携を強化し、PDCAサイクルに基づいた主体的な公衆衛生看護活動を展開することが私たちの使命です。

全国保健師長会では、いきいきと活力ある保健師を目指し、効果的かつ質の高い活動が展開できるよう人材育成を支援するとともに、各ブロックの研修や研究的な取り組みの推進を図り、次世代を担う保健師の成長を支援しながら、つながりを強化してまいります。

平成 28 年度全国保健師長会活動テーマ

“社会の課題に向き合う公衆衛生看護活動の展開”

— 保健・医療・福祉をつなぎ安心して健やかに暮らせるまちづくりの実現—

平成 28 年度活動方針

1 専門性の高い公衆衛生看護活動の強化

- 地域に責任を持った活動を強化する。
- 統括的な役割を果たす保健師の配置を推進し、役割を確立する。
- 各自治体の特性に応じた保健師活動指針の作成を支援する。
- 保健師の現任教育の充実に向けた取り組みを推進する。

2 ブロック、支部活動の強化

- 効果的な保健師活動や人材育成等の取り組みなど、情報交換・研修等を活発に行い、自主的な活動を推進する。

3 中長期的な展望に立った被災地における保健師活動の可視化及び各自治体における災害時対策の取り組みの促進

- 被災地の長期的な健康課題に対する保健師活動の実態を明らかにし、その活動をあらゆる機関を通じて発信する。
- 災害時における保健師活動マニュアルや体験記を活用した、各自治体の災害時対策の取組を推進する。

4 会員数の拡大

- リーダー的立場の保健師の入会を増やす。特に未加入市町村への働きかけを強化する。